

## 5

次は、読書のことについて書かれた新聞の【コラム】（筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事。）です。この【コラム】は、全体の内容が1から5までのまとまりに分かれています。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

## 【コラム】

記事の中の▼は、まとまりを表す印です。



1 ▼四月二十三日　ものは、その時その時によつて読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、『セロ弾きのゴーシュ』を再び読んだ。当時は気付かなかつた人物の見事※1な描写※2に、賢治のすばらしさを実感した。5 ▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心※2に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

その作者たちを敬うやまうとともに、読書の楽しみを味わう日である。2 ▼子供のころ、宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書という

※1 「描写」…かき表すこと。

※2 「童心」…子供の心。

一 筆者は、「子ども読書の日」について、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書かれているまとまりを、「コラム」の中の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましよう。

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠こんきよ付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましよう。ただし、句点（。）や読点（、）、かぎ「『』」は字数にふくみません。

※解答は、解答用紙に書きましよう。
